

第18回 福智町弓道大会
吉田啓子さんが栄えある優勝飾る

福智町弓道連盟主催の福智町弓道大会が12月10日に福智町弓道場で開かれました。県内外から265人が参加。張りつめた雰囲気の中、団体戦と個人戦で選手たちが矢の射抜く快音を響かせ、日頃の練習の成果を競いました。町内からは日王弓友会の23人が出場。一般女子の部で、吉田啓子さんが優勝を飾りました。



↑ 射入魂の精神で29m先の的に集中し、互いの技と心を競い合う選手たち。

↓ 仲間を常にカバーし合う全員野球に徹し、準優勝に輝いた19人の選手たち。



赤池ボーイズが春季県北部大会予選で準優勝
団結力を武器に7年ぶりの快挙達成

「赤池ボーイズ」が12月2日、3日に穂波野球場で行われた第48回春季大会福岡県北支部予選で準優勝を果たしました。選手19人は団結力を武器に7年ぶりの快挙を達成。全国大会には一歩届きませんでしたが、予選上位のチームで競う西日本大会に出場し思いをぶつけます。 **部員随時募集中** 顧問 門村監督 ☎090-7440-1846

下田川2か町連合消防出初式
新年に誓った地域防災力の強化

福智町と糸田町の2町合同による消防出初式が、1月14日に糸田町民グラウンドで行われました。両町あわせて団員475人、車両21台が出動する中、県知事、県消防協会、両町長表彰など、延べ119人の団員を表彰。一糸乱れぬ整然とした分列行進が披露され、地域防災を担う意識と士気の高さが示されました。



↑ 掛け声と足並みが見事にそろった分列行進からも、強い団結力を感じました。

↓ 「初恋の人は」「幽霊を信じるか」など気軽に話せるテーマで大盛り上がり。



赤池中2年生トーク・フォークダンス
世代間の距離を縮める語りの輪

赤池中2年生が保護者や地域の大人と語り合う「トーク・フォークダンス」が赤池中体育館で12月16日に行われ約200人が輪を囲みました。生徒と大人は1対1で向き合い、次々と相手を変えながら決められたテーマで1分間対話。初対面でも語り終えるとすぐに打ち解け、世代を越えた交流のきっかけとなりました。

↓ かつて旧赤池町で開かれていた「童謡まつり」、福智町で初開催となる記念すべき1日となりました。



童謡まつり in ふくち
誇りある童謡祭がついに復活

日本童謡史に一時代を築いた作曲家・河村光陽の生誕地にちなんだ「童謡まつり」が12月23日に「ふくちのち」で開催されました。10数年ぶりに復活したイベントに、文連をはじめ7団体が参加。河村童謡の合唱や演奏が来場者で埋め尽くされたホールに響き渡りました。「河村光陽展」や「上野焼作陶体験」も同時開催され、館内は町が誇る文化に彩られました。

第42回 福智町金田えびす祭
伝統ある師走恒例の招福行事

42年に渡り受け継がれる伝統行事「金田えびす祭」が、金田恵比寿神社奉賛会の主催で12月2日から2日間開かれました。会場の金田菅原神社境内に、空くじなしの福引きや富くじ、縁起物の熊手を求め約千人が来場。招福を祈願し、露店の飲食物で体を温めながら、一年の感謝と来る年への期待を語り合いました。



↑ 家内安全や商売繁盛を願う「打ち込み」の掛け声が、絶えず会場に響きました。

↓ 中城村と福智町の子どもたち40人が、充実した体験を通して絆を深めました。



沖縄県中城村・福智町交流事業
前日からの大雪で銀世界が歓迎

児童の相互ホームステイを継続し、兄弟都市提携を結ぶ沖縄県中城村との交流が、1月12日から2泊3日で行われました。中城村の児童が初めて触れるメインの雪体験では、前日からの大雪で銀世界が歓迎。白い雪を手にとり歓声があがりました。上野焼の絵付も体験するなど、風土ならではの環境で親交を深めました。